



北京オリンピックで メダルを取る！

熊野町出身で、北京オリンピック男子マラソン日本代表の尾方剛選手の激励会が、7月9日(水)に町民体育館で行われました。

当日は、平本芳之町長をはじめ、NPO法人熊野健康スポーツ振興会理事長、町民等約500人が集まり、尾方選手への応援・質問

や、熊野町出身の歌手「メビウス」が尾方選手のために作った歌を披露するなど、盛大に行われました。

質問コーナーでは、熊野第四小学校6年の登野凌雅くんの、「早く走るにはどうすればいいですか」との質問に「毎日走る事です」と答え、登野くんから似顔絵をプレゼントされ、尾方

選手は喜んでいました。

インタビュー

皆さんから、たくさんの激励を受けた尾方剛選手に、インタビューしました。

こんなものなのか？

—北京オリンピック代表に決まった瞬間の気持ちを教えてください。

尾方 事前に連絡があるような、かしこまったものかと思っていたら、乗っていたタクシーのラジオで決断を聞きました。「こんなものなのかな」と思いました。



でるからにはメダルを狙います

—オリンピックでの目標は。尾方 もちろんメダルを狙っています。調整も順調に進んでいます。

オリンピックは

テレビで見えるもの
と思っていました

—オリンピックはいつから目標にしていましたか。いつ頃行けると感じましたか。

尾方 オリンピックは夢ではなかったんです。テレビで見るものだと思っていました。でも、アテネ五輪(04年)の代表に手が届くと感じた瞬間、目標に変わ

おがたつよし
尾方剛さん (35歳)
熊野町出身・中国電力、07年の世界陸上選手権大阪大会5位入賞等の実績を認められ「北京五輪」の男子マラソン日本代表として出場されます。

りました。そして同時にオリンピックに行けると感じました。

海外勢がライバル

—オリンピックでのライバルは。

尾方 レース条件が悪いため、選手は横一線なので、海外勢はすべてライバルだと思っています。

熊野駅伝は自分の原点

—2月には、熊野駅伝で子どもたちと一緒に走っていたとき、大変励みとなったようですが、尾方さんにとって熊野駅伝とは。

尾方 小学校時代は人数不

足で地区でチームをつくれず、出たとしても出れない大会でした。いつも見るだけでしたが、この大会を見ていなかったら陸上をやっていなかったかもしれない。中学生になってやっと走ることができ、自分の原点となった大会です。

同じ距離でも

熊野だと短く感じる

—町内を練習で走ることがあります。

尾方 走ってますよ。中学、高校時代に走ってたので懐

かしい気持ちで走れるんです。あの頃長いと思っていたコースもこんなに短かったのかと感じることもあります。

環境には対応できる

—4月のプレ五輪や試走などで北京を走ってみて、環境や路面など厳しいと感じましたか。

尾方 確かに厳しい環境でした。ただ、これまで海外のレースで、硬い路面など色々経験しているので対応できると思います。

あきらめない
我慢する
絶対負けない



勝つための秘訣

—これまで、世界陸上選手権など夏のレースでも結果を残していますが、何か秘訣があるのですか。

尾方 「あきらめない」、「我慢する」、「絶対負けない」という強い気持ちを持って望んでいます。

熊野から

パワーを送ってください

—熊野には尾方さんのファンがたくさんいます。尾方さんを目指して頑張っている子どもたちもいます。そのようなファンや子どもたちに一言お願いします。

尾方 自分が目標にされる存在になれるとは思っていません。何でも夢を持ち、その夢はかなうと思っ取り組んでほしいです。必ず自身身のプラスになると思っています。また、いつも熊野の皆さんの応援が力になりま

8月24日(日)尾方剛選手を応援しよう!

マラソン当日、町民体育館に大型スクリーンを設置します。みんなで応援して、北京にパワーを送りましょう。そして、メダル獲得の瞬間をみんなで祝いましょう。

- 8月24日(日)7:30(マラソン開始時間は日本時間で8:30から)
- 町民体育館 ■入場無料 ■町民体育館 ☎854-7695

(総務課)

す。北京に行けない人も、熊野からパワーを送ってください。

陸上の町「熊野」の誇る、日本のトップランナーをみんなが応援しましょう。